

株式会社HIBARI

会社紹介資料



会社概要



会社名

株式会社HIBARI

事業内容

AIシステム開発・IoTデバイス開発・AI人材育成

代表取締役

佐藤 羽瑠

メンバー

5名

設立

2024年11月27日

所在地

〒410-0056 静岡県沼津市高島町15-5 んましんCOMPASS 2F

チーム紹介



代表取締役 CEO
佐藤 羽瑠

沼津高専にて無線通信の研究に従事。在学中には、IoTを活用したスマート農業システムの開発で学会等で多数受賞。現在はAI×デジタルツイン領域を研究している。



取締役 CTO
武田 巧達

北海道大学工学部在学中
沼津高専在学中に、GIS（地理情報システム）を活用したシステムの研究開発にて静岡県オープンデータコンテスト優秀賞受賞。



取締役 COO
山崎 涼之佑

沼津高専にて、機械学習を利用した、富士山に関する天候気象の研究に従事し、学会等で多数受賞。また鳥獣対策に興味があり狩猟免許(わな猟)を保持している。



取締役
公野 颯真

信州大学工学部在学中
沼津高専在学中はAI×IoT×気象データを活用したスマート養殖システムの開発で多数のコンテスト・学会等で受賞。複合現実と画像処理について学んでいる。



取締役
中野 光稀

沼津高専在学中にユーザフィードバックに基づき動的に変化するオンライン教材の開発に従事。現在はマルチエージェントの研究開発を行っている。

メンバー全員が**沼津高専出身**で、在学中には高専ディープラーニングコンテスト7位入賞、トピー工業賞、日立産業制御ソリューションズ賞を受賞しました。また、各メンバー個人も学術研究にて学会等で多数の受賞やロボットの開発の経験を有しており、様々な経験から高い提案力と開発力を武器に、2024年11月**株式会社HIBARI**を設立しました。

”現場の抱える課題”をAI×デジタルツインで解決する

経営層と現場で働く人々が直面する課題や視点はしばしば異なり
それぞれが考える問題の本質も異なることが多くあります。

HIBARIは、このギャップを埋めるために、深いヒアリングを通じて
本質的な課題を見極め、AIとデジタルツインの技術を活用した
最適なソリューションを提案します。

私たちは、単なる技術提供にとどまらず、お客様と伴走しながら、
実際の現場で機能する解決策を共創し、持続的な価値を生み出します

”現場の抱える課題”をAI×デジタルツインで解決する

AI・IoT受託開発

各企業様の抱える課題やニーズに合わせカスタマイズしたAIソリューションを提案します。
業務効率化、顧客分析、受付業務の代替、サービスの品質向上など幅広い業種・業界で導入が可能に。また、農林水産業におけるIoTを活用したルーチン業務の負担軽減などIoT分野の開発も可能です。



リモートセンシングと AI技術の融合により
より高い価値のシステムを提供可能に

デジタルツイン研究開発

技術導入が難しいとされている現場においてデジタルツインを導入することで、生産工程の最適化や設備の状態監視、AIによる予測メンテナンスや自動化により業務効率化とコスト削減を実現可能に。



鑄造・ダイカスト業界における 倉庫管理システム「倉庫ナビ」のご紹介



| 鑄造・ダイカストとは

溶かした金属を型に流し込み、冷却・固化させて製品を作る製造方法で、複雑な形状の金属部品を大量生産するのに適しており、高精度・高品質な製品を効率的に生産可能。

- 鑄造：木型・砂型を使用
- ダイカスト：金属製の金型を使用



- 空いている場所に配置するしかない
- 簡単には廃棄できないため年々点数が増えていく

その結果、、、

なにが、どこに、いつから あるのか分からない！

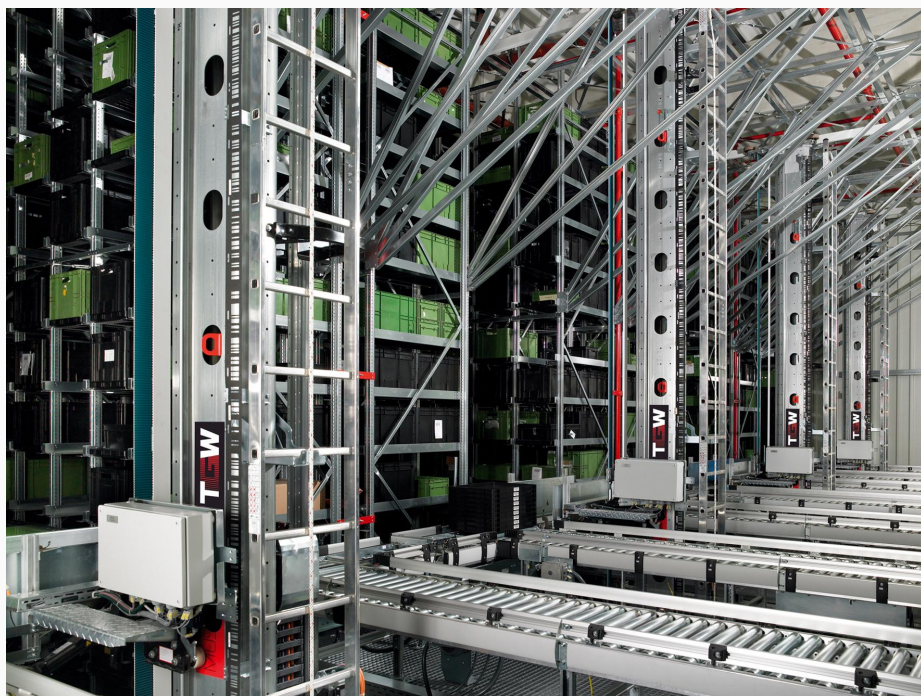


- 1年ぶりに使う型を探すのに1,2日かかってしまう。
- 取り出しやすい場所によく使う型がない。（配置場所の効率が悪い）
- メーカーに長期間不使用の型の廃棄申請をしづらい。

一般的な解決策として

自動倉庫の導入

→費用は数億円からで、敷地も要する。全ての型を入れなければ意味がない

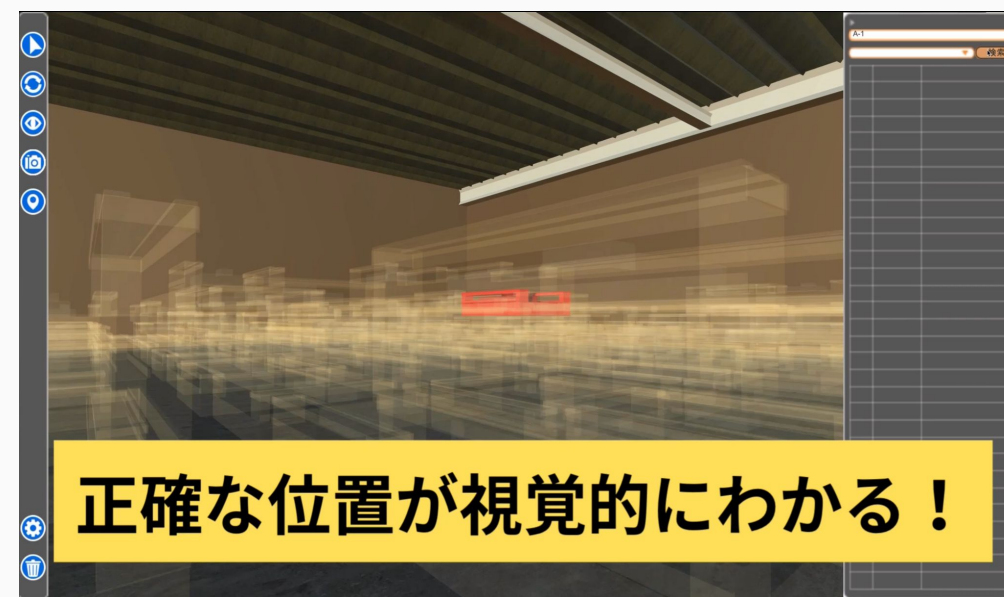
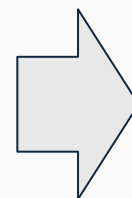
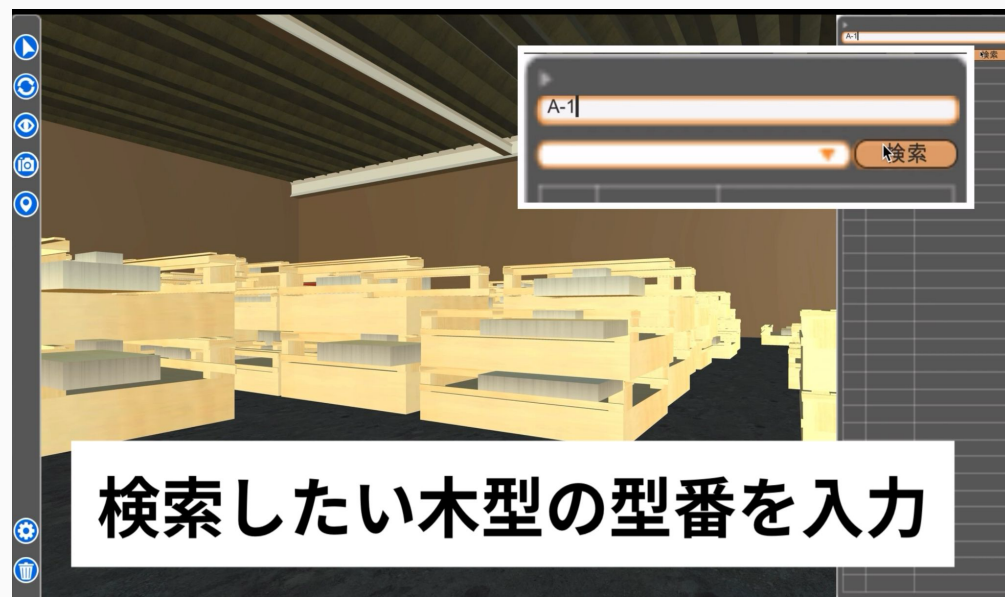


中小がほとんどのこの業界で
この課題を解決するには

必要最低限だが費用を抑えた
システムで解決するしかない！

倉庫ナビとは

取り出したい金型の型番を検索すると
実際の倉庫を再現した3Dマップで金型のピンポイントな位置を表示

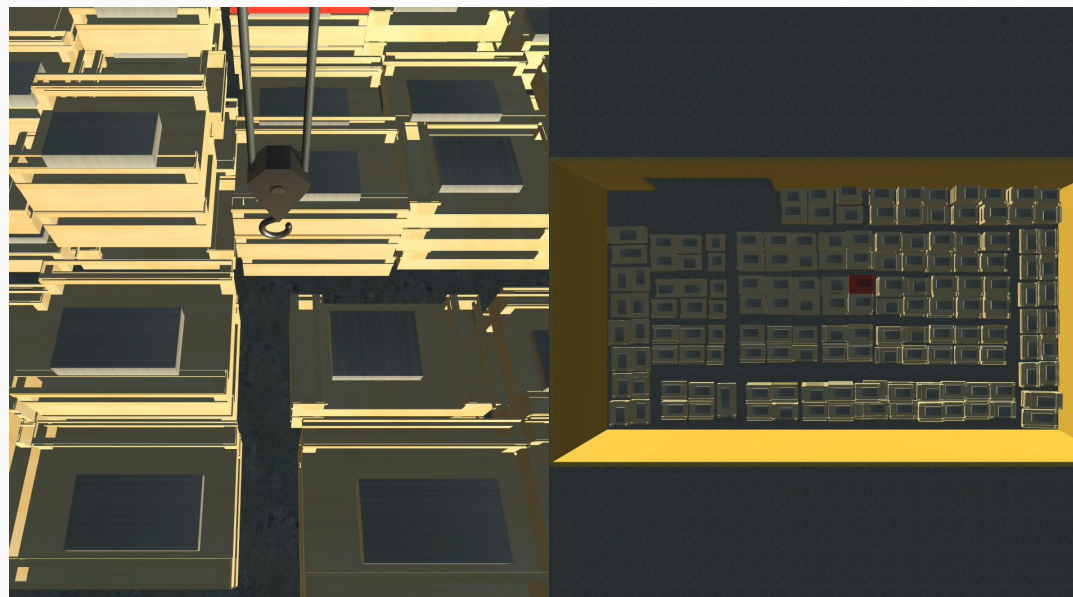


倉庫内に設置したAIカメラにより
現実世界の型の動きを3Dデジタルツイン倉庫と自動で同期（現在開発中）

高額な自動倉庫を導入しなくても



常に何がどこにあるのかを把握



地域のAIリテラシー向上のための講座

Confidential



**業務で活用できる
AIツールとは？
業務活用ケーススタディ**

AIスタートアップCEOが語る
業務ごとの最適なAIツールとAI最新動向

株式会社HIBARI
代表取締役CEO
佐藤 羽瑠

参加無料
事前登録
フォーム

6.3(火) 15:00 - 16:30
ぬましんCOMPASS 3F
オンラインでも開催します！！

静岡東部AIリーダーズカフェ

AI時代の経営をリードする“私塾”が静岡東部に誕生

生成AIの急速な進化により、企業規模問わずAI導入が不可欠な時代が到来しています。しかし、「自社に合った使い方が分からない」「考える時間がない」と感じる経営者も少なくありません。そんな経営者のために、「静岡東部AIリーダーズカフェ」は、AIを経営に活かす視座と、共に学び実践する時間を得られる場を提供します。

この活動にける想い

信用金庫、行政、商工会議所と連携し、AIリテラシーの向上を目的とした、AIセミナーを多数開催している。

主な内容

最新AI技術動向、業務別AIツールの活用事例、企業におけるAI/IoTの活用事例紹介、データサイエンス、AIのための数学講座など

**沼津工業高等専門学校
令和7年度 第3回技術セミナー**

沼津高専生 CEO が語る！
静岡県の未来を拓く AI 活用戦略
～地域と共に創るイノベーションの可能性～

日時
令和7年 7/22 (火)
17:30～19:00

場所
沼津工業高等専門学校
管理棟 3F 大会議室

対象
地域企業、教職員、学生の皆様

こんな方におすすめ！

- ・ AI を自社のビジネスにどう活かすか模索している経営者・担当者の方
- ・ 最新の AI 技術や、地域での新しい取り組みに興味がある方
- ・ 起業や将来のキャリアについてヒントを得たい学生の皆さん

講演内容

株式会社 HIBARI の紹介

- ・ 現役高専生が起業に至った経緯と事業内容
- ・ AI システム開発と AI 人材育成の最前線

AI で切り拓く地域貢献のビジョン

- ・ 地域企業や自治体との連携で目指す未来
- ・ AI は地域課題をどう解決できるか

静岡県における AI の利用可能性

- ・ 製造業、行政など県内産業への AI 導入事例と展望
- ・ ビジネスを加速させる AI 活用の具体的なステップ

講演者紹介

佐藤 羽瑠 (さとう はる) 氏
株式会社 HIBARI
代表取締役 CEO
沼津高専 制御情報工学科卒業
専攻科在学中

本科5年次に高専の同期4人とAIシステム開発やAI人材育成を主な事業内容とする株式会社HIBARIを創業、現在に至る

出席の申込は、7月18日(金)までに、以下のメールからお願いいたします。

お問い合わせ：沼津高専技術部 中川 (nakagawa@numazu-ct.ac.jp)

| Contact



<https://hibari-ai.com>



info@hibari-ai.com



〒410-0056
静岡県沼津市高島町15-5 ぬましんCOMPASS 2F



HP